事業報告書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目			ドーピング検査推進事業			
			ドーピング検査事業			
助成事業者名		業者名	公益財団法人全日本柔道連盟			
事業名			平成30年度におけるドーピング検査			
事業の成果			ドーピング検査を実施することにより、スポーツの価値、競技の公平性、競技者の健康を守ることができた。また、ドーピング検査を通じてそのことを競技者に理解してもらうことができた。 さらに、競技者自らがクリーンであることが証明でき、国内外へのアピールになった。			
事業に対する評価			助成金事業により、大きな負担がなく円滑にドーピング検査を行うことができた。 ドーピング検査の重要性を浸透させていくことができた。			
事業計画及び実績				年度当初計画	実績	
			検体数	176	件 158 件	
実施した事業の内容			平成30年度におけるドーピング検査 1. 対象競技会数:7大会 2. 検体数:158検体 NFR 7名 〈対象競技会〉 ①全日本選抜柔道体重別選手権大会 (福岡、 4月7-8日、 28名、28検体) ②全日本カデ柔道体重別選手権大会 (大阪、 4月15日、 28名、30検体) ③皇后盃全日本女子柔道選手権大会 (神奈川、4月22日、 4名、4検体) ④全日本柔道選手権大会 (東京、4月29日、 4名、4検体) ⑤全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 (埼玉、9月8-9日、 31名、33検体) ⑥講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 (千葉、11月2-3日、 28名、29検体) ⑦グランドスラム大阪2018国際柔道大会 (大阪、11月22-25日、28名、30検体) ※DCOの人数、シャペロンの人数については請求書を参照			
情報公開	事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開	情報の公開方法 (複数選択可)	 ☑ HPで公開 □ 広報誌・会報誌等で公開 ☑ 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 □ 情報開示請求があった場合に開示 □ その他 () □ 特段の情報の公開は行っていない 理由: (小级 源东八朋〉	
		公表した内容 (複数選択可)	 ☑ 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開) □ 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開) □ 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開) □ 助成金の交付を受けた旨は公開できない 理由: () 			
事業実施後に参加者等に対する 満足度調査を行ったか			□ 行った ☑ 行わなかった 実施方法			
備考		考	toto旗を常時ドーピング検査室に掲示している。			